



Sun StorEdge™ 6320 システム 1.3 ご使用にあたって

リリース 1.3

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 817-2249-17
2005 年 11 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付随する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品のの一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、Java、および Sun StorEdge は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サン・ロゴマークは、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Netscape は、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation の商標および登録商標です。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザー・インターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植の可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun StorEdge 6320 System 1.3 Release Notes
Part No: 816-7880-23
Revision A



Sun StorEdge 6320 システム 1.3 ご 使用にあたって

Sun StorEdge™ 6320 システムは、ストレージソリューションとしての、完全構成済みストレージシステムです。

このマニュアルは、Sun StorEdge 6320 システムに関する最新情報を提供します。この情報には、システムの設置と運用に関する情報が含まれていることがあります。このため、システムの設置を始める前に、またほかのアレイのマニュアルを読む前に必ずお読みください。

本書の内容はリリース 1.3 に適用されます。この文書は次の節で構成されています。

- 2 ページの「リリース 1.3 の変更点」
- 3 ページの「システム要件」
- 3 ページの「ソフトウェアパッケージ」
- 9 ページの「既知の注意事項と問題点」
- 12 ページの「リリースのマニュアル」
- 14 ページの「Sun StorEdge 6320 システムの用語」
- 14 ページの「サービスに関する問い合わせ先」

リリース 1.3 の変更点

リリース 1.3 は、アレイのファームウェアの更新および、ソフトウェアのアップグレードで構成されます。アップグレードの入手とインストールについては、6 ページの「6320 基本パッチ」を参照してください。

オンラインディスクファームウェアダウンロード

オンラインディスクファームウェアダウンロード機能を使用すると、ディスクファームウェアのダウンロード処理中も、影響を受けるボリューム上のデータへのアクセスを継続して行うことができます。処理を実行している間も、ボリュームをオンラインのままにしておくことが可能です。プロセス全体はより高速で、複雑ではなく、ユーザーの介入は最小限ですみます。

ディスクの耐障害性の向上

ディスクの耐障害性が向上しました。単純なメディアエラーから全体的なディスク障害にわたる 1 つ以上のドライブのディスク障害時でも、顧客データの有効性を増すように設計されています。この機能によって、システムが機能縮退状態にある時間を減らし、二重のディスク障害が起こる可能性を減少させます。

ホットスペアの潜在的な障害の検出

この機能によって、アレイは、現在どの稼働中の RAID セットの一部でもないディスクドライブ上のメディアエラーを、積極的に検出し、修正できるようになります。基本的にこれは、ディスクスクラブ機能を、ボリュームのディスクスクラブのあとに残りの使用されていないドライブのディスクスクラブを行なって、メディアエラーを検出するように強化したものです。

Backend Fault Isolation Task (BEFIT) の強化

BEFIT は、システムの LIP (Loop Initialization Protocol) ストームや一時的な障害を監視し、一時的な障害状態で使用できない FRU をシステムから分離するために必要なテストの実行中に、代替りのドライブパスに入出力を自動的にフェイルオーバーすることができます。

システム要件

Sun StorEdge 6320 ハードウェアおよびソフトウェアプラットフォームの設置、およびインストール要件については、『Sun StorEdge 6320 システム設置マニュアル』をご覧ください。

今回のリリースへの更新に必要なソフトウェアパッケージとパッチについては、次節を参照してください。

ソフトウェアパッケージ

Sun StorEdge 6320 システムは、アレイに Ethernet 接続されているホストにインストールした次のソフトウェアパッケージのいずれかを使って管理することができます。

- Solaris ホストのソフトウェアパッケージ
 - Sun StorEdge 6000 ファミリー用ホストインストールソフトウェア

このパッケージは、Solaris ホストで使用することができ、Sun StorEdge Configuration Service ソフトウェア、Storage Automated Diagnostic Environment (Device Edition) ソフトウェア、Remote Configuration コマンド行インタフェース (CLI) (sscs) などが含まれています。

詳細は、『Sun StorEdge 6000 ファミリーホストインストールソフトウェアマニュアル』を参照してください。
- Solaris 以外のホストのソフトウェアパッケージ
 - Sun StorEdge Traffic Manager ソフトウェア
 - Remote CLI クライアント (thin スクリプトクライアント)
- VERITAS アレイサポートライブラリ

アレイに VERITAS Volume Manager サポートを受ける場合、このパッケージを適用します。

▼ ソフトウェアパッケージをインストールする

1. 次の URL に移動します。
<http://www.sun.com/download>

2. 「Browse By Category」 ウィンドウで、「Search」 タブをクリックします。
3. 「Search」 ウィンドウで 6000 と入力します。
4. 「Sun StorEdge 6000 Family Host Installation Software 2.3」 のリンクをクリックします。
「download」 リンクでは、すべてのプラットフォーム用のソフトウェアをダウンロードできます。
5. 「Download」 をクリックします。
6. ユーザー名とパスワードを入力してログインします。
ライセンス条項が表示されます。
7. 「Accept」 をクリックしてライセンス条項に同意し、「Continue」 をクリックします。
8. 使用するオペレーティングシステム用の適切なファイル名をクリックして、ファイルをダウンロードします。
9. 『Sun StorEdge 6000 ファミリーホストインストールソフトウェアマニュアル』で説明されている手順に従ってインストールスクリプト (install.sh) を実行します。

データホスト用のソフトウェアパッチ

表 1 は、データホストに最低限必要なソフトウェアパッチをまとめています。

注 – データホストにソフトウェアパッケージが必要な場合、パッケージをインストールしてから、パッチをインストールしてください。

表 1 データホスト用のソフトウェアパッチ

プラットフォーム	パッチ番号/ソース	パッチの説明
Solaris 9 オペレーティングシステムの初回リリース以降または Solaris 8 04/01 以降	http://www.sunsolve.sun.com 112392-05 以降 http://www.sunsolve.sun.com	Sun StorEdge SAN Foundation 4.2 以降のソフトウェア: パッチおよび製品情報については、 http://www.sun.com/storage/san にある『Sun StorEdge SAN Foundation 4.x Installation Guide』を参照。 VERITAS VxVM 3.5 一般パッチ*
Microsoft Windows NT オペレーティングシステム	Microsoft	Microsoft Windows NT Service Pack, SP 6A

表 1 データホスト用のソフトウェアパッチ (続き)

プラットフォーム	パッチ番号/ソース	パッチの説明
	http://www.sunsolve.sun.com	Sun StorEdge Traffic Manager 3.x NT
Microsoft Windows 2000 Server および Advanced Server	Microsoft	Microsoft Windows 2000 Service Pack, SP 3
	http://www.sunsolve.sun.com	Sun StorEdge Traffic Manager 3.x Windows 2000
IBM AIX 4.3.3	IBM	ML 10
	http://www.sunsolve.sun.com	Sun StorEdge Traffic Manager 3.x AIX
IBM AIX 5.1 32 および 64 ビット	IBM	ML 03
	http://www.sunsolve.sun.com	Sun StorEdge Traffic Manager 3.x AIX
HP-UX 11.00 および 11.i	Hewlett-Packard から入手可能	2002 年 9 月のパッチセット
	http://www.sunsolve.sun.com	Sun StorEdge Traffic Manager 3.x HP-UX
Red Hat Linux 7.2 (単一パスサポートのみ)	Red Hat Linux	バージョン 2.4.7-10

* アレイで VERITAS Volume Manager を実行するシステムにのみ必要

▼ データホスト用のソフトウェアパッチをインストールする

1. 表 1 に示したリストでデータホスト用に必要なソフトウェアパッチを確認します。
2. 次の URL に移動します。
<http://www.sunsolve.sun.com>
3. 「Patch Portal PatchPro」 → 「Network Storage Products」 に移動します。
4. 必要なパッチをダウンロードします。
5. CLI セッションで `patchadd (1M)` コマンドを使って、ホストソフトウェアのパッチをインストールします。
パッチ情報の詳細は、README ファイルをご覧ください。

6320 基本パッチ

リリース 1.3 の基準要件を満たすために必要な管理ソフトウェアパッチは次のとおりです。

115589-11 - Storage Service Processor ソフトウェア

113193-06- PatchPro のパッチ

116931-18 - アレイのファームウェア 3.2.2

114591-21 - Storage Automated Diagnostic Environment ソフトウェアパッチ

113673-04 - Seagate (ST373453F) 72 GB 0449

116748-04 - Seagate (ST336753F) 36 GB 0449

▼ 管理ホストの基本パッチをインストールする

注 - ループカードファームウェア 7.20、およびコントローラファームウェア 3.1 のどちらも、SYNC にある必要があります。これらのパッチを適用する前に、6120 および 6020 のコントローラとループカードファームウェアのバージョンを確認してください。

1. ストレージサービスプロセッサ上の Storage Automated Diagnostic Environment ソフトウェアにログインします。

たとえば、次のように入力します。

```
https://host-name:7443
```

```
Login: storage
```

```
Password: !storage
```

2. 「監視」->「監視デバイス」を選択して、監視可能なデバイスを表示します。
3. アレイ名 (たとえば sp0-array0) をクリックすることによって、監視中のアレイに警告がないか確認します。
4. 警告がある場合は、次に進む前にその問題を解決してアレイが正常であることを確認します。

障害追跡については、『Sun StorEdge 6320 System 1.2 Reference and Service Manual』を参照してください。

5. PatchPro のソースを、PatchPro サーバーから CD-ROM に変更する必要がある場合は、「サービス」->「バージョン設定」を選択して、「パッチのソース」オプションの下にある下向き矢印をクリックし、CD を選択します。

6. 「オプションを更新」をクリックします。
 7. 新しいシステムの資産のスナップショットを作成します。
 - a. 「ストレージ管理」->「サービス」->「資産管理」を選択して、「新しい資産を生成」をクリックします。

これで、最新のシステム資産リストが生成されます。
 - b. 「新しい資産の保存」をクリックします。

リストが更新されます。
 8. 必要なパッチを確認して適用します。
 - a. 「ストレージ管理」->「サービス」->「リビジョン管理」をクリックします。
 - b. 「新しいパッチレポートを作成」をクリックします。

「パッチを選択」のリンクが表示されるまで1分ほどかかります。
アクティブになったかどうかは、「パッチレポート状態」を見るとわかります。
 - c. 「パッチを選択」をクリックします。

各デバイス (アレイおよびストレージサービスプロセッサ) に対して用意されているパッチが表示されます。
 - d. 更新するデバイスを選択して、「選択したパッチを適用」をクリックします。すべてのデバイスのパッチを更新する場合は、「すべてのデバイスを適用」をクリックします。

「パッチインストールレポート」により、適用された変更のログが生成されます。
 - e. 「ログの表示」をクリックします。

パッチはデバイスごとにインストールされ、ログにその進行状況が表示されます。1つのデバイス用のパッチがすべてインストールされると、ログが消去され、次のデバイス用のパッチの記録が始まります。たとえばストレージサービスプロセッサ用のパッチがすべてインストールされると、ログが消去され、アレイ用のパッチのインストール状況の表示になります。セッションが完了すると、そのことを示すメッセージが表示されます。
-
- 注** - 次の手順が必要かどうかは、そのときのシステムの基準のインストール状況によって異なります。必要に応じて、最初のパスで必要なパッチがインストールされ、以降のパスで、新しい基準要件を満たすために必要なほかのすべてのパッチがインストールされます。
-
- f. 手順 7 から手順 8 c を繰り返して「パッチステータスレポート」を再実行します。

- g. 「パッチステータスレポート」によって、更新すべきパッチが引き続き表示される場合は、手順 8 d、および手順 8 e を繰り返します。

注 – PatchPro パッチ (113193-06) は、Storage Automated Diagnostic Environment ソフトウェアパッチ (114591-21) より先にインストールされている必要があります。パッチ CD では、両方のパッチを一緒にインストールすることを推奨しています。Storage Automated Diagnostic Environment ソフトウェアパッチの最初のパスでインストールは失敗します。パッチステータスレポートにパッチが表示され、次回インストールは正常に行われます。

9. 「[履歴]に移動」をクリックして、インストールのレポートを保存します。

Storage Automated Diagnostic Environment ソフトウェアについては、『Storage Automated Diagnostic Environment User's Guide』を参照してください。

10. ストレージサービスプロセッサから次のコマンドを実行し、新しいパッチが正しくインストールされていることを確認します。

```
[sp0]# showrev -p
```

既知の注意事項と問題点

次の各項では、今回の製品リリースに関する既知の注意事項と問題点 (バグ) を説明します。

- 9 ページの「既知の注意事項」
- 11 ページの「問題点 (バグ)」

既知の注意事項

この項では、バグ以外の、製品に関する既知の注意事項をまとめています。次の各項目について説明します。

- 9 ページの「『サイト計画の手引き』の訂正」
- 10 ページの「使用中の既存のプールのセグメントサイズを変更するとデータが失なわれる」
- 10 ページの「Secure Shell (SSH)」
- 10 ページの「認証プロキシサーバー」
- 10 ページの「Storage Automated Diagnostic Environment ソフトウェアを更新すると、接続が切断される」
- 10 ページの「Sun StorEdge 6320 システムの管理」
- 11 ページの「Netscape のバージョン 4.79」
- 11 ページの「ブラウザの古いバージョン」

『サイト計画の手引き』の訂正

『Sun StorEdge 6320 システム 1.0 サイト計画の手引き』の記述には、次の誤りがあります。

- 表 3 の「AC 240 時の電流」が「32A」となっていますが、正しくは「24A」です。
- 表 5 の保守作業に必要な空間に「側面」の記載がありますが、これは 6320 システムには必要ありません。

これらは、『Sun StorEdge 6320 System 1.2 Site Preparation Guide』(英語版のみ) では訂正されています。

使用中の既存のプールのセグメントサイズを変更するとデータが失われる

使用中の既存のプールのセグメントサイズを変更すると、ボリュームからそのプールが削除され、データが消失します。使用中のプールのセグメントサイズの変更は行わないでください。

Secure Shell (SSH)

Sun StorEdge Remote Response/Point-to-Point Protocol インタフェースを介した SSH (Secure shell) はサポートされていますが、LAN SSH 接続はサポートされていません。

認証プロキシサーバー

インターネットに接続し、Sun の外部パッチ配布サーバーにアクセスする場合には、プロキシのユーザー名とパスワードを必要とする認証プロキシサーバーを使用することはできません。

サービスプロセッサのアクセサリトレイのケーブル

注意 – 発火の危険を減らすため、ケーブルは必ず UL または CSA 認定の No. 26 AWG 以上の遠隔通信コードを使用してください。

Storage Automated Diagnostic Environment ソフトウェアを更新すると、接続が切断される

Storage Automated Diagnostic Environment ソフトウェアのパッチをインストールすると、その変更を有効にするためにアプリケーションが自動的に再起動します。このため、短時間の間、Storage Automated Diagnostic Environment ソフトウェアへの接続が途絶えます。完全に再起動したら、再表示して接続を確立し直す必要があります。

Sun StorEdge 6320 システムの管理

Sun StorEdge 6320 システムは、ブラウザによるグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) またはコマンド行インターフェースのいずれかを使用して管理することができます。CLI クライアントは、Sun StorEdge Configuration Service ホストの CD から

読み込むことも、Sun の Web サイトからダウンロードすることもできます。CLI クライアントは、LAN 上のサポートされているホストシステムにインストールします。

Netscape のバージョン 4.79

Netscape™ バージョン 4.79 のウィンドウの一番上のバーをダブルクリックしたり、ウィンドウのサイズを変更したりすると、画面のコンテキストが失われることがあります。その場合は、メニューから「再読み込み」を選択してください。

ブラウザの古いバージョン

Netscape バージョン 4.x 以前のなどの、HTTP 1.0 に基づく古い世代の Web ブラウザを使用して、大規模な Sun StorEdge 6320 システムを構成する場合、ブラウザからタイムアウトが返される可能性があります。大規模な構成の場合、古いブラウザは容量の計算に時間を要するため、計算が完了する前にタイムアウトが発生することがあります。その場合は、ブラウザのページを再読み込みして、システムの運用を続けてください。

このことが問題になる場合は、HTTP 1.1 をサポートするバージョン (Netscape 6 以降) にブラウザをアップデートしてください。

FRU のバージョンの更新

FRU (現場交換可能ユニット) を追加したあとに、FRU のバージョンがサポートされていることと、ほかのコンポーネントと適合していることを確認する必要があります。FRU を正しいバージョンに更新するための最新のパッチでシステムを更新してください。ストレージサービスプロセッサにインストールされている Storage Automated Diagnostic Environment ソフトウェアを使用すると、基準パッチを自動的に特定、インストールすることができます。6 ページの「6320 基本パッチ」を参照してください。

問題点 (バグ)

今回のリリースに関連する未解決の問題点 (バグ) はありません。修正された問題点 (バグ) の詳細は、README ファイルをご覧ください。

リリースのマニュアル

表 2 は、6320 および関連製品のマニュアルの一覧です。Part No. の最後に *nn* が付いているマニュアルは、最新版を利用する必要があります。これらのマニュアルは次のサイトからオンラインで入手できます。

■ <http://www.sun.com/documentation>

表 2 Sun StorEdge 6320 システムおよび関連マニュアル

用途分類	タイトル	Part No.
サイトの準備	Sun StorEdge 6320 System 1.2 Site Prep Guide	819-4881- <i>nn</i>
安全要件	Sun StorEdge 6320 System 1.0 Regulatory and Compliance Guide	816-7876- <i>nn</i>
Sun StorEdge 6320 の設置手順	Sun StorEdge 6320 システム 1.2 設置マニュアル	817-2234- <i>nn</i>
概要、保守、リファレンス、CLI 管理	Sun StorEdge 6320 システム 1.2 リファレンスおよびサービスマニュアル	817-2239- <i>nn</i>
管理および構成のヘルプ	Sun StorEdge Configuration Service のオンラインヘルプ	-
	Sun StorEdge SCS (1M) のマニュアルページ	-
Sun StorEdge 6120 のリリース情報	Sun StorEdge 6120 アレイ ご使用にあたって	817-2223- <i>nn</i>
Sun StorEdge 6120 のサイトの準備	Sun StorEdge 6120 アレイ サイト計画の手引き	817-2218- <i>nn</i>
Sun StorEdge 6120 の安全要件	Sun StorEdge 6120 Array Regulatory and Safety Compliance Manual	817-0961- <i>nn</i>
Sun StorEdge 6120 アレイの設置	Sun StorEdge 6120 アレイ 設置マニュアル	817-2208- <i>nn</i>
Sun StorEdge 6120 の概要、保守、リファレンス、CLI 管理	Sun StorEdge 6020 および 6120 アレイ システムマニュアル	817-2213- <i>nn</i>

表 2 Sun StorEdge 6320 システムおよび関連マニュアル (続き)

用途分類	タイトル	Part No.
Storage Automated Diagnostic Environment ソフトウェアの障害の追跡と診断	Storage Automated Diagnostic Environment 2.2 User's Guide	817-0822- <i>nn</i>
	Storage Automated Diagnostic Environment 2.2 Release Notes	817-0823- <i>nn</i>
SAN Foundation	Sun StorEdge SAN Foundation 4.2 Release Notes	817-1246- <i>nn</i>
	Sun StorEdge SAN Foundation 4.2 Installation Guide	817-1244- <i>nn</i>
マルチパスのサポート	Sun StorEdge Traffic Manager Software Release Notes	817-0385- <i>nn</i>
キャビネット情報	Sun StorEdge Expansion Cabinet Installation and Service Manual	805-3067- <i>nn</i>

Sun StorEdge 6320 システムの用語

現在、Storage Networking Industry Association (SNIA) は標準用語を作成しています。この標準用語がすべてのストレージメーカーに完全採用されると、ベンダーが異なってもユーザーの用語理解が容易になります。

Sun では、現在そうした SNIA 用語を採用し始めているところです。Sun StorEdge 6320 システムは、新しい SNIA 用語を初めて採用するストレージ製品です。

表 3 に、Sun StorEdge 6120 の用語と Sun StorEdge 6320 システムで使用されている SNIA 用語との対応を示します。

表 3 Sun StorEdge 6320 用語

Sun StorEdge 6120 アレイの CLI 用語 ¹	Sun StorEdge 6320 の用語
ボリューム	ストレージプール
スライス	ボリューム
LUN	ボリューム
管理ドメイン	ストレージアレイ
パートナーグループ	HA 構成
アレイ	トレイ
格納装置	トレイ
拡張ユニット	拡張ユニット

1 - これは、Sun StorEdge 6120 アレイの Telnet で使用されている CLI 用語です。

サービスに関する問い合わせ先

この製品の設置または使用に関するサポートが必要な場合は、次のサイトをご覧ください。

<http://www.sun.com/service/contacting>